

会 議 録

会 議 の 名 称	平成27年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第3回）
開 催 日 時	平成28年2月25日（木） 午前10時から午前11時5分まで
開 催 場 所	新座市商工会館2階 第1会議室
出 席 者	金子 廣志 谷 眞弓 菅原 久美子 荒井 マサ子 石原 志穂 伊藤 進 西村 輝子 中島 栄 喜友名 利恵子 土屋 賢治 萩原 宏枝 磯貝 幸子 山中 一英 大熊 正 森 聖 三上 文子 渡辺 哲也 計17名
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 谷口副課長、富樫主査、藤田主任
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 各ココフレンドの活動状況報告 (2) 新規開設校について (3) 新年度改正点について (4) 運営委員会設置要綱の改正について (5) 運営委員会今後のスケジュール 4 その他 5 閉会
会 議 資 料	・次第資料 ・委員名簿
そ の 他 の 事 項	特になし

審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)

1 開会 (谷口副課長)

2 挨拶 (金子教育長)

3 議事 (説明：富樫主査)

(資料P 1～7)

(1) 各ココフレンドの活動状況報告

- ・ 11月の会議時に報告した登録人数よりも若干増加したが、高学年は増えていない。
- ・ 低学年の登録率は高く、1・2年生は7割を超えている。学年が上がるごとに登録率が下がる傾向となっている。全体の登録率は各ココフレンド5割程度となっている。
- ・ 2学期以降の参加人数の平均は、各ココフレンド20名から40名程となっている。10月20日以降は冬時間となっており、終了時間が通常よりも30分早くなっている。3学期は活動日数が少なく、各学校共に特に1月は、参加人数が減っている。
- ・ 1月中旬から寒さが厳しくなり、インフルエンザも流行し、各学校で学級閉鎖が増えた。特に東野小では高学年が学年閉鎖となった。この状況が数字にも顕著に出ており、参加人数が1桁の日もあった。第四小学校についても学級閉鎖が多く、参加人数が1桁の日があった。

(資料P 8)

<東野ココフレンド：磯貝委員>

- ・ 12月にクリスマス会などのイベントを実施した。参加児童と一緒に体育館の大掃除を行った。
- ・ 1月はインフルエンザで低学年が1クラスしか参加できない時期もあり、参加人数がとても少ない日が多かった。この状況を予見して、スタッフの人数も減らす対応をとった。
- ・ 2月に入り、インフルエンザの流行も収まり、参加人数も増えてきたところである。

<東北ココフレンド：土屋委員>

- ・ 冬に入ってから参加人数が減っている。
- ・ 2月の参加人数は10名から20名とさみしい状況であった。
- ・ 今週は懇談会があり、50名から60名とにぎやかになった。
- ・ 子供たちを楽しませようとイベントをいくつか行っている。その中の1つとして、ピアノ教室を開いているスタッフが指導者となって、「ミッキーマウスの会」を音楽室で行った。子供たちは、リコーダーか鍵盤ハーモニカを持ってきて一緒に演奏をした。
- ・ 今年度最後の特別活動として、3週に渡って料理教室を実施している。募集150席のところ、300席を超える応募があった。検討の結果、調整をして、1人1回は参加させてあげようということにした。
- ・ 来年度、東北小は御指名を頂き、試験的に夏休みの午後も実施することとなったため、準備を進めているところである。

<野寺ココフレンド：萩原委員>

・冬休みの活動日は2日間だけであったが、そのうちの1日を事前申込み制でお楽しみ会を行った。年末にも関わらず、50名程の子供たちが参加した。モップ競走など、普段体験できないことや体育館の大掃除を行うことができた。

・3学期も不定期ではあるが、様々なイベントを企画した。2月15日には前日がバレンタインデーということもあり、「デコチョコ」というイベントを実施した。この日は短縮授業の日であったこともあり、参加者は96名となり、1教室に入りきらなかったため、学校の協力によりもう1教室お借りして実施することができた。

・普段あまりココフレンドに来ないが、今回のイベントに参加して、翌日からココフレンドに参加するようになった子もいた。

・野寺小は2月に入り、学級閉鎖になったクラスがあった。学級閉鎖になったクラスの子は、参加カードに押印がされていてもココフレンドには参加させずに下校させることとなっていたが、対応についてのお知らせを1月のココフレンドだよりに掲載していたため、把握していない保護者もいた。周知については、来年度の課題として取り組みたいと考えている。

<石神ココフレンド：富樫主査>

・お迎えの推奨をして、お迎えが3割以上となった。ココフレンドに来る子はだいたい決まってきた。何曜日にしか来られないという子も多く、1年生も習い事がない日に参加しているという子が多い印象である。

・石神小はインフルエンザの流行が遅く、現時点で学級閉鎖になったクラスは、1クラスのみである。学級閉鎖になったクラスが1年生であったため、その時期は1年生の参加が少なかった。

・雪の時期に校庭は残雪や水たまりで使用できず、また、体育館では5年生が学校対抗のバスケットボール大会の練習で使用できず、教室のみで活動する日が2週間ほどあった。

・メインで使っているなかよしホールは、習字に使われることも多く、そのような際に使用していた英会話室も今年度は6時間目に授業で使用している日もあり、和室を使用しての活動であった。和室については、障子等があるため、あまり活動に適さない。活動の起点となる教室があると良いのだが。

<新堀ココフレンド：富樫主査>

・日々の参加人数が増えたことで参加者総数も増加し、1月末で延べ5,560名となった。昨年度同月は3,658名であった。参加人数の増加理由として、今年度の1・2年生の参加者が昨年よりも増加したためと捉えている。また、ココフレンドの活動が保護者に認知され、保護者がココフレンドを上手く活用できていることも増加理由の1つとして捉えている。

・今年度は、授業参観、懇談会、役員会等の日に60名から80名の参加があった。

・七夕、ハロウィン、クリスマス会、節分等のイベント実施日は、50名から70名の参加があった。主に3年生以下が参加している。

・スタッフミーティングを毎日実施し、子供たちの状況や運営についての報告・連絡・相談を徹底している。

<四小ココフレンド：富樫主査>

・冬時間になってから、毎日20名前後の参加となっている。その分参加し

た子供たちはスタッフとじっくりと関わることができ、会話もたくさん飛び交っている。

- ・参加人数が少ないため、1年生数人だけで下校する日もあり、日没が早かった時期は心配であった。
- ・高学年の参加はほとんどなく、1年生～3年生がほとんどである。
- ・ハロウィンとクリスマスのイベントには、高学年も含め、100名前後の参加があり、とても賑やかであった。
- ・大きなケガやもめ事もなく、子供たちは安心して元気に過ごしている。

<栗小ココフレンド：富樫主査>

- ・1年生～3年生を中心に参加し、元気に活動している。
- ・現在の課題は、低学年の児童が、学習の時間の終了まで集中できないことである。そのため、学習プリントを用意し、取り組めるよう促している。
- ・児童の個性も把握できるようになってきたため、スタッフ間で情報交換をし、各子供に応じた対応を心掛けている。
- ・学習の時間の終了後には、全員を集め、その日の連絡をするとともに、遊びの際の注意を繰り返し話している。また連絡の中で、ミニ教室の参加を呼び掛けている。最近では、年賀状づくり、節分のおにのお面づくり、折り紙の雛人形づくり、缶ぽっくりづくりなどである。
- ・自由な時間は、校庭や体育館、スタッフルームに分かれて遊んでいる。低学年だけでもドッジボールなどの集団遊びができるようになってきた。成長を感じる。
- ・スタッフが日々変わるため、連絡ノートを活用している。今後内規的な事を明文化して、スタッフ内で共通理解を図りながら見守っていきたいと考えている。

(2) 新規開設校について

(資料P9～P11)

・平成28年度の新規開設校については、第4次新座市基本構想総合振興計画前期基本計画に基づき、実施校の拡大を図るものとして、3校新設する方向で調整を進めてきた。そして、11月に開催した本運営委員会でも、新規開設に当たり、3つの条件とその他現在の状況を鑑み、新開小、池田小及び片山小が良いのではないかとお話をさせていただいた。その後、事務局で財政当局等とも調整を重ねてきた結果、平成28年度については、財政的にも大変厳しい状況ではあるが、市議会からの開設校拡大の要望もあり、文部科学省から示されている放課後子ども総合プランにおける国全体の目標として、平成31年度までに全ての児童の安全・安心な居場所を確保し、全ての小学校区内で放課後子供教室を実施するという方針を踏まえ、計画よりも少ないが、1校を新規開設することとなった。

・新規開設の条件として、①スタッフルームとして1教室又は教室の一部を借用できること、②子供たちの活動場所として開放できる教室等があること、③放課後児童保育室が、大規模化や狭あい化していることという条件に照らし合わせたところ、条件に一番近い新開小に開設することで決定した。

・新開小についてだが、2月15日(月)に事務局で学校を訪問し、正式に新規開設の話をさせていただいた。また、その場でスタッフルームとなる教室の現場調査をさせていただいたところ、2階の現在PTA会議室として使用している教室をスタッフルームとしてお借りすることで、学校及びPTA

から了承を頂いている。また、この教室は体育館にも近く、好条件であると言える。

・放課後児童保育室については、2教室分を使用しており、大規模化の目安となる70名を超える80名となっている。入室率については、100%を超えており、狭あい化も進んでいる。ただし、入室率だけを見ると、片山小の放課後児童保育室の入室率は100%を超えているが、資料10ページの学区表を見ていただくとわかるように、第四中学校区にはココフレンド開設校がない。片山小は第三中学校区となるが、こちらの学区は第四小が既に開設しており、市内の開設バランスも考慮し、新開小での開設が望ましいという結論に至った。

・資料11ページに新開小のココフレンド開設までのスケジュールを載せている。2月15日(月)に学校に説明し、2月17日(水)にPTA役員会で説明させていただいた。3月に入ったら広報でスタッフ募集をする。新開小の1年生～5年生にココフレンドのちらしを配り、PRする予定である。3月10日(木)には、職員会議で教職員向けに事業説明をさせていただく予定である。開設に当たり、準備委員会を3月24日(木)に開催させていただく予定である。4月に入り、スタッフルームの整備、申込書の配布をし、5月に実行委員会の実施、スタッフ研修、児童・保護者に向けたオリエンテーションをし、5月26日(木)の開室を目指して準備を進めている。

(3) 新年度改正点について

(資料P12～P24)

・1年生の受入れ時期についてだが、これまでの新規開設校は入学して学校に慣れてくる頃である、ゴールデンウィーク明けの5月上旬から受け入れていたが、委員長からも1年生の受入れ時期をもっと早めることはできないかというお話もあり、学童の大規模化の解消という観点からも学童と同様4月1日からの受入れについて調整を図ってきた。しかしながら、4月1日からの受入れは、入学前の1年生であり、登下校の問題や受入れ態勢について色々な問題がある。そこで、他学年同様、給食が始まる日から受け入れできないかということで検討してきた。これについては、各学校を訪問し、校長及び教頭と協議を重ね、概ね了解を頂いている。1年生の給食開始日は、4月15日(金)を予定しているため、この日からの参加となる予定である。

・冬時間の変更については、現在10月20日から翌年1月末日までは、日没が早いため、下校時間は午後4時30分としているが、年間を通じて活動の終了時間を午後5時までとするものである。午後4時30分の下校としているのは、子供たちだけで下校させることを想定しての時間であり、お迎えにあれば午後5時までで良いのではないかという意見やアンケート結果からも通年午後5時までにしてほしいという要望があった。

これまでは、冬時間の実施時期についてのみ、議論してきた。またこの時期は、上級生の参加が減ってしまうということから、今回冬時間期間中もお迎えを必須条件として、午後5時まで活動を行うこととした。お迎えが不可能な場合は、従前どおり午後4時30分に下校とする。

・年始休みの開室については、平成24年度は1月4日～7日及びお盆期間の8月13日～15日も開室していたが、参加者数が非常に少なかったため、平成25年度からこの期間をお休みとしていた。しかしながら、なるべく多くの日を開室することを考え、1月4日～7日の期間は開室することと

した。お盆期間については、引き続きお休みとすることとした。

・(学校公開日や運動会、県民の日等の)学校休業日の代休日等の開室については、これまでココフレンドは開室していないが、長期休業日と同様に、午前中の開室ができないか検討してきた。学校はお休みであり、教職員は不在となるため、安全上の問題があると思うが、今後学校に出向き、校長及び教頭と協議を重ねながら調整していきたいと思う。

・夏季休業中の午後の開設については、先程土屋コーディネーターからもお話があったが、当初平成27年度から東北小学校をモデル校として夏休みの午後の開室を行う予定でしたが、諸般の事情により先送りとなった。その後も夏休みの午後の開室については要望もあり、検討してきた。来年度についても引き続き厳しい財政状況ではあるが、事業実施の承認を頂いた。コーディネーターには、2転3転してしまい、御迷惑をお掛けして申し訳ないが、平成28年度の実施に向けて御協力を頂きたい。

・資料14ページからはココフレンドの申込案内及び申込用紙となるが、既存校の現1～5年生には、2月の下旬に配布したいと考えている。申込受付については、3月7日(月)～9日(水)とする。これまでは申込書類一式でA4の用紙7枚を使用していた。平成28年度から実施校も8校となり、印刷部数も膨大となってしまうため、様式をこれまでのものから大幅に変更し、部数を減らすこととした。

・1年生は4月8日(金)が入学式であり、その後に申込案内を配布するとココフレンドの準備期間が厳しくなるため、今年度については、2月上旬に行われた入学説明会時に配布し、コーディネーターが説明を行った。申込受付については、入学式後に臨時窓口を設け、受け付けることとした。

・これらの変更に伴い、実施要綱の改正も必要となるため、後日要綱を改正し、平成28年度の第1回運営委員会にて示したいと考えている。

委員長 土曜日授業は今年度で廃止となるため、資料にはないが、夏季休業期間が短くなる。8月29日(月)から2学期が開始し、給食開始は8月30日(火)となるので、この給食開始日からココフレンドは再開となる。

(4) 運営委員会設置要綱の改正について

(資料P25～P29)

・本要綱を改正する経緯は、各ココフレンド実行委員会で青少年教育振興事業助成金を申請し、助成金3万円を運営経費に充てていたが、ココフレンド開設校の増加に伴い、申請書・実績報告書・決算報告書の作成、決算監査の実施等の事務処理も増加し、対応を検討した結果、平成28年度から運営委員会で一括して助成金の申請をし(8校×3万円=24万円分)、各実行委員会へ分配し、事務の効率化を図ることで決定した。

・これに伴い、運営委員会に会計及び監事の設置が必要となったため、第5条、第6条を中心に要綱を改正したものである。

・役員については、平成28年度第1回運営委員会にて決定させていただきたいと思う。

委員 会計が助成金を取り扱うのか。

事務局 助成金については、これまで各ココフレンドコーディネーターが会計となって執行していた。今後も助成金の執行については、各ココフレンドで行うことを想定しているため、細かな会計管理は各ココフレンドコ

ーディネーターが行うこととする。

委員長 申請や報告書類等の作成は事務局が行っているので、会計は事務局が行うようにしてほしい。

事務局 会計及び監事については、次回会議で提案させていただく。

(5) 運営委員会今後のスケジュール

(資料P30)

・平成28年度についても、5月、11月、3月の年3回の会議を予定している。日程が決まり次第、御連絡させていただく。

4 その他

事務局 スタッフの謝礼金について見直しを検討しており、現在2,400円/日でお支払いしているが、スタッフが慢性的に不足している点や東北ココフレンドで夏季休業日の午後も開室することにより、1日勤務する方も出てくる可能性があることから、融通が利くよう、平成28年度から820円/時間でお支払いする予定である。

事務局 運営委員の任期は、本年3月31日までとなっている。また後日就任を依頼することとなるが、その際はよろしく願います。

委員長 コーディネーターには時間管理をしていただかなければならないと思うが、よろしく願います。

820円は埼玉県最低賃金をクリアしていると思うが。

事務局 東北ココフレンドの夏季休業日の午後の開室に当たり、午後の見守り活動について、シルバー人材センターへの委託を予定しており、シルバー人材センターへの委託単価が820円のため、それに合わせることにした。

5 閉会 (谷口副課長)